TM ©
Beijing 2008

どちらが、わかりやすい？

ピクトグラムは、遠くから見ても

わかりやすくデザインすることが大切

非常口

ピクトグラム

ピクト(pict)　　グラム(-gram)

ピクチャー(picture)

「 *絵、図* 」*による*「*書かれたもの、文*」

絵文字、絵ことば

今から30年ほど前、日本の大型デパートで大火災が相次いで発生。

多くの犠牲者（特にお年寄りや子ども）が出てしまいました。

そこで、誰にでも識別できる非常口のマークのデザインの募集が行われました。

ソビエト（現在のロシア）人デザイナー案に決まろうとしていたが・・・

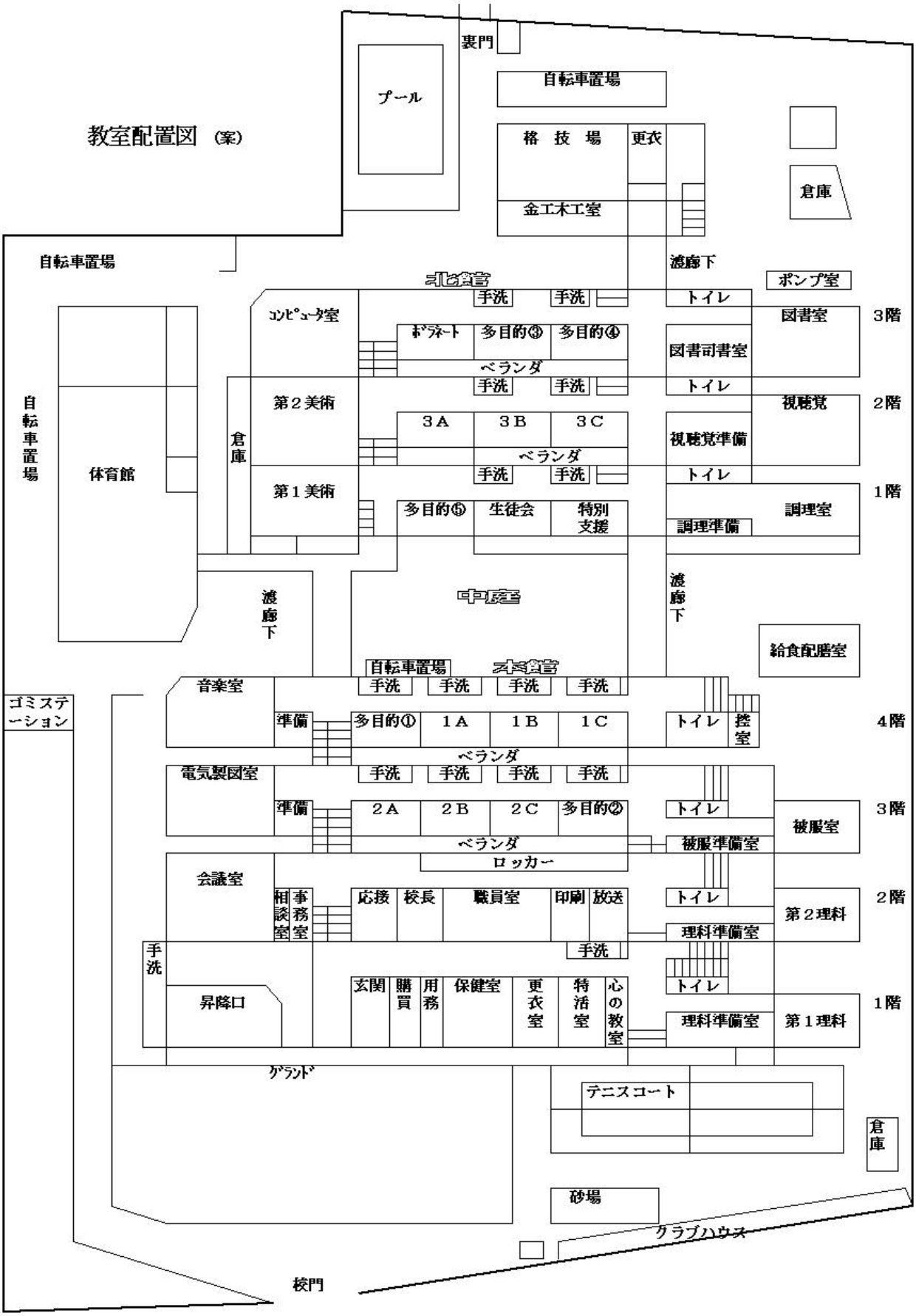
日本人デザイナー案に決定！

非常口のマークは1982年に消防庁主催で全国公募で選ばれた作品で多摩美術大学教授の太田幸夫先生を中心とするグループが作成しています。その後「ISO（国際標準化機構）」が日本の非常口マークを国際基準に指定したため、世界各国で日本のマークが取り入れられているのだとか。
非常口マークは日本が発信した世界標準なのです。他国の同種のものと比べて、文字が無くすっきりはっきり、わかりやすい＝シンプルである点が、高く評価されています。

ピクトグラムの条件

- 「言葉や文化の違いを超えて、誰にでもその意味が理解できるもの」であること
- 「その意味が一目で理解できる明確な図」であること
- 「事前の学習なしに理解できるもの」であること

教室配置図（案）


裏門
プール
自転車置場
格技場
更衣
金工木工室
倉庫
自転車置場
渡廊下
北校舎
手洗
手洗
トイレ
ポンプ室
コンピュータ室
ボランティア
多目的③
多目的④
図書室
3階
図書司書室
ベランダ
手洗
手洗
トイレ
第２美術
視聴覚
2階
3A
3B
3C
視聴覚準備
ベランダ
手洗
手洗
トイレ
第１美術
1階
多目的⑤
生徒会
特別支援
調理室
調理準備
自転車置場
体育館
倉庫
渡廊下
中庭
渡廊下
給食配膳室
自転車置場
南校舎
音楽室
手洗
手洗
手洗
手洗
ゴミステーション
準備
多目的①
1A
1B
1C
トイレ
控室
4階
ベランダ
電気製図室
手洗
手洗
手洗
手洗
準備
2A
2B
2C
多目的②
トイレ
被服室
3階
ベランダ
被服準備室
ロッカー
会議室
相談室
事務室
応接
校長
職員室
印刷
放送
トイレ
第２理科
2階
理科準備室
手洗
手洗
トイレ
昇降口
玄関
購買
用務
保健室
更衣室
特活室
心の教室
理科準備室
第１理科
1階
グランド
テニスコート
倉庫
砂場
クラブハウス
校門

校内研究パワーアップ研修講座

2年Ａ組美術科学習指導案　　東山中学校　辻　政宏

平成 23年 11月 16日（水）　　2年Ａ組教室

題　　材　わたしの提案するピクトグラム
（美術２・３上　日本文教出版　「イメージアップのデザイン」）

指導の方針

○　ピクトグラムの鑑賞と表現を通して，視覚伝達デザインの働きについて学習する。ピクトグラムの果たす役割や造形的な特徴について考えさせながら鑑賞することによって，言語外のコミュニケーション手段としての視覚伝達デザインの重要性を理解させる。その上で，日常生活の場に目を向け，これまでの美術での学びを生かして新たなピクトグラムを提案することによって，形・色・材料による表現が生活をより豊かで便利なものにすることができることを実感させながら，造形的な感性を高めていきたい。

○　本学年の生徒は，１年次において小学校まで無自覚に扱ってきた色彩や形態について学習することにより，それらに性質や感情を表す働きがあることに気づき，興味関心を高めてきている。また，１年の学習において，日常生活を豊かにするためのデザインを学んできている。個人的に楽しむデザインから，地域や社会の役に立つ，「ユニバーサルデザイン」の考え方をこれまで美術で学んだことを意識させながら理解させていきたい。

○　指導にあたっては，鑑賞と表現を一体的に扱う教科課程のもとで授業を展開する。

①　導入において，ピクトグラムの条件を生徒自身が気づくように操作活動を取り入れながら，主体的な鑑賞活動を促したい。

②　構想段階では単に自分の思いつきや感情のままに作るのではなく，その場にふさわしいものになるよう情報をしっかりと収集させてイメージを広げさせたい。

③　①②の状態の下で，これまでの美術の授業で学んできたことを生かすとともに，協同的な活動も取り入れながら，発想構想や制作に取り組ませたい。

④　ピクトグラムの条件を踏まえ，形・色・材料の持つ性質や感情を意識させて表現させたい。

⑤　相互鑑賞させ，ピクトグラムとしての機能性を追究させたい。

目　　標

○　視覚伝達デザインの役割を理解し，日常生活をより豊かに創造することへの関心を高める。

○　目的や条件を考えて，豊かに発想し構想を練る能力を養う。

○　目的や条件に合った形・色・材料を創意工夫して表現することができるようにする。

○　身のまわりのものの用と美に込められた「やさしさ」に気付き，ユニバーサルデザインの視点で日常をとらえることができるようにする。

計　　画

第１次　導入　視覚デザインの鑑賞　……0.5時間（本時）

第２次　ピクトグラムの制作　……2.5時間

　　1　構想　……1.5時間（本時）

　　2　制作　……1時間

第３次　鑑賞　校内展示　……1時間

本　時　案　（計画　第１次及び第２次の１時）

目標
○ 日頃目にしている視覚伝達デザインの働きや条件について理解することができる。
○ ピクトグラムを必要とする場所や場面などを想起させ構想することができる。

学習活動	教師の働きかけと留意点	備　考
1 本時のねらいを知る。（個）	1 「走る」姿をモチーフにした図を見せ，自分たちが知っていることを引き出させながら興味づけを行い，本時は　について考えていくことを伝える。	提示資料
2 ピクトグラムの条件について考える。 (1) 非常口 と　について考える。（個） (2)　と　について考える。（個）	2 以下の展開でピクトグラムの条件について気づかせていく。 (1)「なぜ文字だけではなく絵も付け加えられているのか」その理由について考えさせ，ピクトグラムの条件である**「文化や言葉を越えて理解できるものであること」**に気づかせる。 (2)「なぜ日本のデザインが採用されたのか」について考えさせ，ピクトグラムの条件**「簡潔・明瞭で一目で理解できるものであること」**に気づかせる。	カード
(3) 鑑賞ゲームをする。（班）	(3) 班対抗で，*様々な地図記号やピクトグラムの読み取りゲームをさせ以下の要領でさせる。*　（班ごとにカード配布） ・時間制限を設け，記号が何を表しているか答えを指導者に伝え競わせることにより，鑑賞の意欲を促す。 ・どの記号の正解率が高かったのか，なぜ高かったのか考えさせることによりピクトグラムの条件**「事前の学習をしないでも理解できるものであること」**に気づかせていく。	*鑑賞の能力* ピクトグラムの役割，条件について理解することができる。
(4)ここまでの学習内容を整理する。（個）	(4)ここまでの学習内容をワークシートを配付し整理させる。	ワークシートＡ 付箋紙
3 を見て，学校という施設のよりよい機能について考える。（個人～全体）	3 現在の校舎案内図を提示し，災害時緊急避難してくる人々にとってどのようなピクトグラムがあると便利になりそうか，以下の点に留意させ班で話し合わせる， ・*校舎内の各教室や場所に対して，来校する誰もが共通して持つことのできるイメージを言葉でカードに記入させ，場所ごとに分類して掲示ボードに貼らせていく。*	校舎配置図 ワークシートＢ 付箋紙 *発想構想* 校舎内の場所についてイメージを広げることができる。
4 本時のまとめをする。（個人）	4 本時を振り返らせ自己評価させるとともに，次時の学習内容を予告し目標を立てさせ，制作に見通しを持たせる。	

施設や場所から連想される「もの・こと」をコトバで集めよう

昇降口	会議室	電気製図室	音楽室	第1美術室	第2美術室
購買	事務室	2 A	多目的①	多目的⑤	3 A
用務員室	応接室	2 B	1 A	生徒会	3 B
保健室	校長室	2 C	1 B	E	3 C
更衣室	職員室	多目的②	1 C	調理室	視聴覚室
心の教室	印刷室	被服室	トイレ	コンピュータ室	ボラネート
第1理科室	放送室	武道場	金工木工室	ゴミステーション	図書室
給食配膳室	第2理科室	プール	自転車置場	テニスコート	グランド

Ⅰ	班で協力して，課題に意欲的に取り組めた。		組 番	氏 名
Ⅱ	場所や施設のイメージを連想することができた。		授業前後	
Ⅳ	記号のはたらきや条件について考え，理解することができた。			

駐在所・派出所	水泳競技場	老人ホーム	電車乗り場
授乳室	保健所	エスカレータ	消防署
市役所	中華レストラン	高等学校	エレベーター

図書館	コインロッカー	国立博物館・美術館	タクシー乗り場
喫茶室	発電所	公衆電話	税務署
裁判所	託児所	町・村役場	女性更衣室

①

（②　　）→（③　　）

＝（④　　）

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

《　　》

① ピクトグラム

（② 絵 ）→（③ 意味を伝達 ）

＝（④ 絵文字，絵コトバ ）

⑤ 文化や言語の違いを越えて

⑥ 簡潔で明りょうな図で一目で

⑦ 事前の学習なしで

⑧意味が理解できる

⑨ ユニバーサル デザイン UD

⑩すべての できるだけ多くの 人々のための

《　　》設計・計画